

# 2023 明治安田生命 J3 リーグ 第 9 節 vs.YSCC 横浜

5/3 (水・祝) 14:00 kick off @岐阜メモリアルセンター長良川競技場



## 2023 J3 ■順位表■ 第 8 節 勝点、得失点差、得点、失点、 岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	富山	16p	+6	17	11	
2	奈良	15p	+6	12	6	
3	愛媛	15p	0	11	11	A●
4	長野	14p	+4	14	10	
5	八戸	13p	+4	11	7	A●
6	松本	12p	+3	14	11	H△
7	鹿児島	12p	+1	11	10	HO
8	沼津	12p	+1	9	8	
9	今治	12p	-1	12	13	
10	岩手	11p	+5	13	8	
11	讃岐	11p	-6	6	12	
12	鳥取	10p	0	13	13	
13	琉球	10p	-2	9	11	HO
14	FC大阪	9p	-3	7	10	H●
	宮崎	9p	-3	7	10	A●
16	岐阜	8p	-1	8	9	---
17	福島	8p	-3	6	9	
18	北九州	6p	-3	10	13	A△
19	相模原	6p	-3	7	10	
20	YS横浜	6p	-5	10	15	

## 次回HomeGame

第11節 vs.カターレ富山

5/28 (日) 19:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

## 大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)  
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。  
休:月曜日

今日もここから  
串かつで一杯

煮込み珍道中  
串かつ

14:30 ~ 22:00

※売り切れ次第、終了です  
火、水、金、土 (祝日除く) 営業

TEL. 058-252-1580

忠節橋  
通り

JR 岐阜駅  
北口より  
北西方面へ  
徒歩約 10 分

★ アミカ

ドーミー  
イン

JR  
岐阜駅

## today's guest : YSCC横浜

2022 J3 8勝4分22敗 勝ち点28:16位

### 直近の対決と結果

2022/09/03  
J3 - 23節@長良川

### 岐阜 3-0 YS横浜

田中順也x2, 菊池大介 scored.

### ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜		YSCC横浜	
2023/04/30 J3 - 8節@ユニスタ 宮崎 2-1 岐阜		2023/04/30 J3 - 8節@ニッパツ YS横浜 4-2 今治	
2023/04/16 J3 - 7節@長良川 岐阜 0-1 FC大阪		2023/04/23 天皇杯県予選@小机 YS横浜 2-0 東邦チタニウム	
2023/04/08 J3 - 6節@ニスタ 愛媛 2-1 岐阜		2023/04/16 J3 - 7節@プラスタ 八戸 1-1 YS横浜	

●4/16 (日) 第7節は、初めてFC大阪を迎えたホーム戦。前節での失点の反省から、守備陣を変更して臨んだFC岐阜だったが、前半25分にセットプレーから失点してしまう。まずは同点に追いつくべく攻勢を強める岐阜だったが、攻撃が噛み合わない中で、前半に#10庄司悦大が、後半には#7村田透馬が負傷交替。そして#19松本歩夢が2枚目の警告を受けて退場。結局、このまま岐阜は得点を奪うことができずに0-1で敗戦。今季初の連敗を喫してしまい、今季のホーム戦無敗記録も途切れてしまった。そして、天皇杯の県代表決定戦が、全国の多くで開催 (なお、岐阜県では5/6 (土) に開催予定) されたため、2週間を空けて迎えた4/30 (日) 第8節・アウェイ宮崎戦。しかし試合開始すぐにCKから失点し、前半31分には#16石津大介に“恩返し弾”を決められ2失点目。後半A Tに#48田口裕也の今季初ゴールでようやく1点を返したものの、1-2で敗戦、これでFC岐阜は3連敗となってしまった。この2試合の結果、FC岐阜の戦績は2勝2分4敗・8得点9失点となり、順位は更に下がって16位。やはり先制点が奪えていないことと、セットプレーでの失点が大きな課題と言えるだろう。もちろん、全38節のうち8試合を消化したばかりの状況だし、今季イチからチームを作り上げているところなので、やむを得ない面もある。だが、首位・富山との勝点差が8と徐々に離れてきている。そしてそれ以上に、最下位及び19位 (= JFLとの入れ替えの可能性が発生する) との勝点差がわずか2しか離れていないことには、危機感を強めた方がいい。また、4/27 (木) に定期株主総会が開かれ、クラブは昨季 (2022シーズン・第17期) の決算が1億3200万の赤字となること、今季 (2023シーズン・第18期) の収支も厳しい状況であることを明らかにした。もしも今季も赤字決算となった場合、(Jリーグのクラブライセンスは3期連続赤字を認めていないため) 次季 (2024シーズン) は必ず黒字決算にならないと、自動的にJリーグを退会処分となる。チームとしてもJFLへの降格は避けたいところだが、クラブとしても今季に黒字化を達成するため、選手補強は控えることになるだろう。つまり、現在の在籍選手が成長してチームが強くなるのが、クラブとしても重要度が大きく増したと言えるだろう。

さて、今節の対戦相手は、Y.S.C.C. 横浜だ。2021年は初の8位・一桁順位になったが、シュタルフ監督 (現・長野) がチームを離れた昨季は、再び下位の16位に沈んでしまった。今季は、選手を大幅に入れ替える一方で、昨季途中から就任した星川敬監督が統括してチームの継続・底上げを狙っている。しかし、現時点では今季もチームは低迷し、順位は20位 (最下位)。ただし前節では今治を相手に (今治が退場者2名を出したのも原因の一つだが) 4-2で逆転勝利を挙げている。3連敗で不調に苦しむ岐阜とは対照的に、気持ちに勢いをもってアウェイの地に乗り込んで来るだろう。しかも、2021年5/30 (日) のホーム戦、後半A Tに逆転ゴールを許して1-2、当時未勝利だったYS横浜に初勝利をプレゼントした苦々しい試合の記憶を、我々は忘れてはいけない。厳しい状況ではあるが、しかしこの状況を乗り越えてこそ、チームとしても成長できるはずだ。

YS横浜との通算対戦成績は、3勝2分1敗・10得点5失点。昨季の対戦では、3/12 (土) アウェイ開幕戦が0-0、9/3 (土) 第23節・ホーム戦は、#18田中順也が2ゴールを挙げるなど、3-0で勝利。今回もT Jのゴールに期待したいところだし、やはり2021年にYS横浜に在籍していた#45ンドカ・チャールスの活躍に注目したい。このホーム・長良川で、見事な“恩返し弾”を決める姿を僕らに見せて欲しい。一方のYS横浜の要注意選手には、前節で2ゴールを決めた#21福田翔生を挙げる。また、昨年まで5シーズン岐阜に在籍していた#31岡本享也が還ってくるのかにも注目したい。今季初の中3日での連戦は、厳しいコンディションでの戦いとなるだろう。フレッシュな選手の活躍にも期待したいし、僕らFC岐阜サポーターの応援で、選手たちを鼓舞し、背中を押し続け、ホーム戦のアドバンテージを高めたい。今節こそ、このホーム・長良川で勝利の歓喜を選手たちと分かち合い、ともに“勝利のHYPER CHANT”を歌おう。(ささたく)

投稿募集 !! [gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

## 【第7節】岐阜 0-1 FC 大阪

●庄司悦大、村田透馬の負傷交代、松本歩夢のイエローカード2枚で退場といういろいろ起きてしまった。2人の怪我が軽症であることを願うばかり。

松本歩夢の2枚目のイエローカードに繋がるプレー。不慣れた右サイドバックでの器用であったとはいえ、前半早々に1枚カードを受けていた選手のプレーではなかった。このあたりは猛省してもらいたいところ。

前半から右サイドを攻められるシーンが多く、対応に苦慮していたので、ハーフタイムで交代かなと思いきやそのまま。おそらく前半途中の庄司の負傷交代によって、サイドからの攻撃に活路を見い出さずしかないとの上野監督の考えだったのであろうか（窪田ほどではないにせよ歩夢にもスピードはあるし良いクロスを上げられるという点もあるし）。

開幕から負傷者が相次いで、なかなかベストのメンバーで戦っていく事が出来ない現状。まあいるメンバーでやっていく他ないわけではあるが。（岐阜の誇り）

●愛媛戦での敗戦を受けて今回のFC大阪（ちなみに「F大阪」と略するらしいんですが、どうにも僕には違和感がありまして……（笑））戦、僕の最初の注目点は、スタメンをどうするのかでした。んで、GKは#1茂木秀ってのは想定内、右SBの#19松本歩夢、これも想定内。だけど……CBに#2杉田隼は、ちょっと想定外でした（苦笑）。んで、岐阜がボールを保持するものの、パスが繋がらないから、FC大阪のカウンターを浴びる……という展開。うーん、中央前線の選手同士の組み合わせというか相性というか、良くなる兆しが全く見えないんですが……（溜息）。そうこうしてると、またもFK、セットプレーで失点。うーん、セットプレーをゾーンで守るのは、よく言われるように、どうしても中に入ってくる相手選手を自由にさせがちですよ……。実際、失点シーンでは選手の人数は揃っているけれど、ボールよりゴール側、つまり守備が出来る体勢にある選手は、FC大阪の選手よりも人数が少なかつた様に僕には見えた。現時点では、セットプレーでは、要所にマンツーマンを取り入れた方が良いんじゃないかなあ……。

そして、前半36分に#10庄司悦大が負傷交替したかと思えば、後半55分に#7村田透馬も負傷交替。いやいや、昨季より多く走ってるのは分かるけど、負傷交代者ちょっと多過ぎでしょ！んで、61分には#19松本歩夢が警告2枚目で退場……。あれは足の裏を見せて蹴りにいってるから、相手に当たろうが当たるまいが関係なく、警告が確定の不用意なプレーだった。猛省して欲しい。んで、そんな不利な状況になった場面でも、ようやく攻勢が強まるのは仕様でしょうか（苦笑）。もっと最初から得点を奪うためにガツガツいって欲しいものです……そして、シュートが枠内に行かないのも、何とかして欲しいものです。枠内に撃てば、そこから可能性はいくらでも広がると思うんですが……。

結局、このまま0-1で敗戦、そしてホームでの無敗記録も止まってしまった。J初参入のクラブに勝利をプレゼントするような“優しさ”が、残念ながら岐阜のお家芸となっているような悪い予感がするのですが、そろそろ、そんな僕らの気持ちを吹き飛ばすような、熱い気持ちが溢れ出るような試合を見せて欲しいものです。（ささたく）

●連敗。失点の場面はなんでも無いようなFKだと思ったのに、ゴール左前がどフリー。そして、ゴール前での球際で競り負けていては失点もやむなしか。そして、相変わらず、トップには収まる気配がない。つか、収める気がない、かな？コースケはがんばってアタマで競ってたんだけど。しかたないんで、サイドに回しても中がいない。残念。でも、前節同様、得点の匂いが最終盤を除き、ほとんどしなかった。そういう意味では失点も含め納得の敗戦でした。

で、アユムくんよ。アノ位置で足裏見せて相手に接触したら、そりゃ、カード出さざるを得んですよ、主審も。その後に影

響ありまくるもん。そもそも、一枚目が開始10分くらい？ちょっと、目を離してたんで、どんなプレーか、わからんけど、ハーフライン付近なんで、そんな焦る必要なかったんじゃないかな？慣れないSBだからとは思うけど、改めて自省をお願いします。

新参クラブにホームで負け（なんていうと相手に失礼か。そもそも、新加入組に負けるのは今回が初めてじゃないんだし）。結果、成績も負け先行。この時期にコレでは、昇格って絵は描けないね。想定内だけど。今は来季以降に向けての基盤構築中と思ってますよ。

それでも、10人になってから出たよね、迫力が。え？なんで決まってないの？という場面もあったように見えただけ。惜しかったと言えば惜しかった。最後まで諦めない姿勢、闘志が見えたのはよかった。あ、でも、交替で出たFWがシュートを打たずにスルー、ってのはちょっと萎える（苦笑）。打っていいよ、打たなきゃだよ。「オレが決めたる！」って気持ちが見たいね。（ぐん）

●いまのFC岐阜にないのは『ビジョン』じゃなくて『プラン』だ。大阪隊は序盤からフィジカルで圧力かけて、ゴールを奪ったら仕掛けるのはナシにしてカウンター。そのプラン通りに試合は進んだ。一方の岐阜に『プラン』はあったのかな？「ぬるっとサッカーやってぬるぬると勝つ」ってのは、それは『プラン』なのかな？庄司の負傷交代、歩夢の退場で『プラン』どころじゃなくなって、でも上野監督は「気の利いたパスなんて出ないんだから」と前線を厚くしてどかんどかん。それが効果のある攻撃になっていたかということもどうかかなんだけど、同点にする姿勢は見せてくれたし、見せ場自体は作れたんで、OKかな。ホーム戦だからね、「勝敗以外の部分でお客さんを満足させる」興行的要素は大事です。

歩夢の退場については言うことなし、サッカーの警告を英語でBookedと形容するのは、『次やったら退場』が予約(Book)された、と考えるべきで、警告された選手があんなプレーしたら退場で何の問題もない。

相変わらず「負けるときは1点差」。大きく崩れてはいない。でも、だからと言って勝ち点0.5がいただけるわけでもない。結果が欲しいところだね。（吉田铸造）

## 【第8節】宮崎 2-1 岐阜

●ホームでの敗戦から2週間の準備期間。アウェイ宮崎では、あまりいい記憶が無い(苦笑)のですが、この期間を使ってチームの成長が……問題点の改善が……できていませんでしたね、はい……(溜息)。05分の失点は、またしてもセットプレー、CKのボール処理で、実質的な守備人数が少ないところを宮崎の選手に決められてしまう。んで2点目は、ボール奪取に連続して失敗して転倒し、ゴール前でスペースを空けてしまったところを、昨季まで岐阜に在籍していた#16石津大介に狙い澄ましたミドルを撃たれ、2失点目……(溜息)。一番やられたくない相手に“恩返し弾”を決められるのは、ホント見たくない光景です、はい。

んで、この試合では#15浮田健誠が負傷交替……うーん、試合中のアクシデントは避けがたいこととはいえ、こうまで負傷交代者が多いと、試合の展開そのもので大きく後手に回ってしまうと僕は思う。対処法が練習なのかケアなのかは僕には分からないけれど、何か対策をとらないとマズいのでは……。そして、岐阜は攻撃陣を入れ替えて活性化を図るもの、どうにも上手くいかない。中央でボールが収まらないから、サイド攻撃で突破を図るけれど、やっぱり中央に折り返したボールを跳ね返される。最後の最後に、#8窪田稜のクロスで#48田口裕也がヘッドで合わせて、今季初ゴール、1点を返すことができたけれど、それが93分ではねえ……(溜息)。これで3連敗。いや、今年は“我慢の年・積み上げの年”だったのは理解してますよ？ですが、ここまで課題が改善されないのを見せられると、流石にちょっとイライラしますよね……(溜息)。逆説的に言えば、試合の勝敗だけに拘るシーズンでは無いのだから、もっと思い切った対策や選手起用をして貰いたいし、そうすることで、この停滞感が払拭できるんじゃないか、僕はそんな風に考えている。(ささたく)

●0-2から1点返した瞬間は喜んだけど、直後に「焼け石に水、だよなあ。」と思ってしまう自分。いろんな意味で重症なんじゃないだろうか？今のウチには2点差を追いつくイメージが湧かなくて。いや、タイムアップ寸前だったからだろう、たぶん。逆に、宮崎がいっぱいいっぱいだったからかもしれない。先制して、追加点入れて、その後は必死で追いかける我が軍を尻目に、余裕を持ってボールを回してたように見えただけ。余裕と言えば、宮崎のゴール前よりウチのゴール前の方にソレがあったような気がする。攻撃側に取っての余裕がね。その辺がウチの失点と一平クンのポスト弾という明暗に繋がったのかもしれない。

先制点のゴール前での球際競り負けは、『ウチあるある』だったけど、追加点も同じ。今度の恩返し弾は石津か。ヤレヤレ、だ。あれで宮崎に余裕ができた(とと思ってた)。じっくりと回して繋いで、ウチが出てきたところをカウンターって感じになって。あ、でも、2点は取られたけど、茂木が3点は防いでくれた。ありがとう！

これで2つ負け越し。下位にいた宮崎にも逆転された。今日の試合を見る限り、組織としても個人としても、向こうに力負けしてたように見えるのがなんともツライ。だが、ツライのはツライんだけど、若手の成長を見守るしかない。そういう長い目がノガシユンやアベちゃんを一人前にした……ハズ。そうなるといいなあ。いいんだけど……。それと選手、チームだけでなく、監督も育成中、というところも現状に出てるんだろうなあ。盲信するつもりはないけど、こちらも見守るしかない。

とはいえ、最下位との勝ち点差が2になった。降格の可能性があるからそこまで落ちるわけにはいかない。シーズンも四分の一近くが経過。ケガ人がいるのはわかるが、そろそろスタメン含めて見直しも必要なんじゃないかな？見守ると言いつつ、つつい……(苦笑)。申し訳ない。(ぐん、)

●試合終了間際の反撃弾。これはもしかして勢いつけて同点まで持って行けるか？と思ったその後のプレー、右サイドに展開していたボランチ(敢えて書くけど14番)くんが後ろからボールを受けてまったく前を見ないで後ろに戻したのを視て、氷水を飲み込まされたように気持ちが冷めた。ああ、無理しないのね。このまま終わらせるのね。ま、とにかくこれで「負けても1点差」記録は継続更新中です。

全38試合のうち8試合が終わったところだけど、とにかくチームとして『攻撃のスタイルが全然ない』ってのは気になる。あるとするなら「仕掛けはリョウくんから。以上」くらいかな。(チームの)成長成長言っているから、『スタイルを作る』作業に入る前にシーズンが終わったするのかな。またしても「チームの成長フェーズが終了したら面白いサッカーが完成」するのかもしれない。

なんか上野さんは「コーチはやっていただけ監督は未経験」ってトコが顕著に出ちゃってる気がする。ここまで打って気づいたのだけど、もしかしてFC岐阜が『成長』と言っているのはチームじゃなくて監督のことなのかもしれない。以前の監督さんで、岐阜では結果が出せなかったけれどそれを糧に『成長』して別のチームで著しい好成績を残しているひともいますね……昨年はJ1昇格プレーオフの最終戦でチーム初のJ1昇格目前！ってところまで行きましたか。

さて、FC岐阜はなんだかんだで3連敗。もし今日の試合で負けて、福島・北九州・相模原が揃って今節で勝利を挙げるとFC岐阜は最下位になります。降格圏です。成長成長言っではいられなくなりますが、昨年度の決算は赤字でした。今年度も赤字予算と聞いています。補強にカネかける余裕なんかないですよ(そういえば「海外のクラブとの提携話」ってどうなったんでしたっけ?)。

もう一つの心配事が、天皇杯。宮崎戦の前日にメドウで行われた岐阜県予選の準決勝で、難波宏明監督率いる聖徳学園大(東海学生サッカーリーグ2部)がFC岐阜セカンドに2-1で競り勝ち、5/6にFC岐阜(トップチーム)と決勝戦。ぼくはその準決勝を現地で観ていたけれど、聖徳大がその試合と同じくらいのパフォーマンスで来たら、天皇杯岐阜県代表がどうなるか、わからないよ？そんな風に思っちゃうくらいの、岐阜vs宮崎の内容でした。あーあ、やれやれ、なんだかねえ。(吉田鑄造)